



各 位

平成 23年 5月6日

会 社 名 若築建設株式会社

代表者名 代表取締役社長 福島 章雄
(コード番号 1888 東証第1部)

問合せ先 執行役員財務部長 衣非 勉
TEL (03) 3492 - 0273

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、最近の業績等を踏まえ、平成22年7月15日に公表しました平成23年3月期(平成22年4月1日～平成23年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたので、お知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(単位:百万円)

平成23年 3月期通期連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	63,000	1,600	1,700	△ 4,450	△36円07銭
今回修正予想(B)	59,000	1,750	2,250	△ 5,300	△43円00銭
増減額(B-A)	△ 4,000	150	550	△ 850	
増減率(%)	-6.3%	9.4%	32.4%	-	
(ご参考)前期実績 (平成 22年 3月期)	65,449	994	1,436	△ 1,225	△9円94銭

平成23年 3月期通期個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成23年3月31日)

	売 上 高	営 業 利 益	経 常 利 益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	61,200	1,500	1,000	4,500	36円48銭
今回修正予想(B)	57,400	1,500	1,300	3,300	26円75銭
増減額(B-A)	△ 3,800	-	300	△ 1,200	
増減率(%)	-6.2%	-	30.0%	-26.7%	
(ご参考)前期実績 (平成 22年 3月期)	63,395	698	292	△ 2,387	△19円35銭

2. 修正の理由

①(個別業績予想)

当社は、平成20年度に策定いたしました中期経営計画に基づき、本業収益力の強化と経営効率の改善を図り、財務体質の強化を目指して参りました。その結果、計画最終年度の平成22年度は、受注環境の悪化に伴い、売上高が前回予想より38億円減少する見込みですが、工事利益率の改善等で営業利益はほぼ前回予想通りに、また経常利益に関しましては、受取配当金の増加や計画を上回る有利子負債の圧縮による支払利息の低減等により、前回予想より3割程度増加する見込みです。

特別損益におきましては、持分法適用関連会社（佐藤工業株式会社）の株式譲渡に伴い、35億円近い売却益を計上したものの、3月11日に発生しました東日本大震災に起因する災害損失4億円、保有資産の減損損失5億円及び関連会社等への貸倒引当金繰入額3億円等により、19億円を超える特別損失を計上する予定で、当期純利益については、前回予想より12億円減少し33億円となる見込みです。

②(連結業績予想)

主に個別業績の修正及び持分法適用関連会社の業績の影響による修正です。

なお、個別と連結で当期純利益に大きな差額が生じていますのは、持分法適用関連会社（佐藤工業株式会社）の株式譲渡に伴うもので、前述の通り、個別では35億円近い売却益を計上しておりますが、連結では逆に60億円近い売却損を計上しているからです。これは同社に連結上は持分法を適用した結果、同社の利益の一部の取り込みや「負ののれん」相当額の償却等で連結上の簿価が増大し、個別と連結で約95億円の差額が生じていたためです。

この売却損は、連結会計上の損失ですので、資金の支出を伴ったものではありません。また、同社は当該譲渡により持分法適用関連会社ではなくなりましたので、当期限りの会計処理であります。

(注) 上記の予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績等は今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

以 上